

管理者所見（26年度反省、27年度決意）

～ あっくん家現状報告～

26年度は一年通して利用者の変動はなく、お元気に過ごされています。若干入院される方もいましたが、施設に復帰され今まで通り生活することが出来ています。インフルエンザやノロウイルスなど大きな感染症等も無かった反面、食欲不振や関節痛など細かい体調の訴えが多く、対応に追われる形となりました。外出支援などは依然として積極的に行えているとは言えず、地域行事への参加やその為の情報収集も今後は必要であると感じています。

～ 26年度の所見～

あっくん家の職員、ならびに利用者・ご家族などを対象に、皆が納得し、満足できるような体制作りに取り組んだ一年だったと思います。実際にはそれらの体制づくりや変更に追われた形となりました。例えば情報共有や申し送りの徹底はできてきたが、介護の業務

に少なからず惰性が生まれ形式的にこなすの
みになってしまったり、スタッフによってで
きることでできないことが明確になってきてし
まったりしました。ミーティング等でこれら
を指摘するものの、あっくん家全体で徹底す
るまでには至りませんでした。また、職員の
減少に伴い、残業や少人数での業務を強いる
形となる日もあり、職員も満足し、納得して
業務に入れる体制づくりの必要性を感じまし
た。

～ 27 年度 抱負 ～

26 年度は利用者さんの笑顔を多く生む、と
抱負を掲げてやってきた中で、職員の惰性や
能力の差などで満足に利用者にサービスを提
供できなかった反省をふまえ、27 年度は、よ
り多くのサービス提供や外出支援など、利用
者、職員皆が納得し楽しめるような職場環境
と運営体制づくり構築の継続を抱負に取り組
みたいと思います。